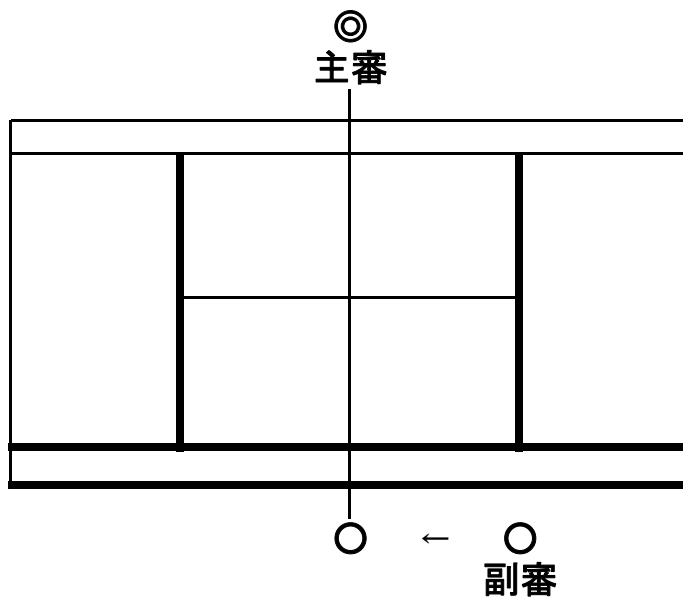


審判要領

各校の審判員は、次のことを守って審判を行ってください。

- ① 審判は、対戦校同士で互いに出す。
- ② 各校審判の代表者2名は、12月24日8時10分、12月25日・26日の8時40分からの審判指導に出席する。
- ③ 両校の審判員は、試合の始まる前に「ボール、スコアカード、校名プレート」などを本部に取りに行き、試合の準備をする。
- ④ 両校の監督・選手を並べ、「試合前の挨拶」の司会を行う。
- ⑤ ウォームアップ時間3分を計る。（「残り2分」、「残り1分」、「残り30秒」、「タイム」をコールする。）
- ⑥ 判定のコールなど、はっきりと分かるように大きな声で行うこと。
- ⑦ ハンドシグナルは、あくまでも補助的なものとする。
- ⑧ エンドチェンジのときは、選手がベンチに戻って来てから60秒を計り、「タイム」とコールする。
- ⑨ スコアカードには、勝者のサインなど記入もれのないように注意する。
- ⑩ 1試合終わるごとに速やかに、スコアカードとボールを本部に提出する。
- ⑪ 全ての試合が終了したら、「ボール、スコアカード、校名プレート」などをそろえて、本部へ返却する。
- ⑫ 自校の試合が予定されている時は、いつでも本部から連絡が取れるよう、会場を離れないよう心掛ける。



この太いラインが、副審の責任ラインです。
(明らかな間違いのみ主審がオーバールールすることができる。)